

第8回出生前検査認証制度等運営委員会 議事要旨

日時：令和6年3月18日（月） 18:00～19:30

場所：web 開催

出席者（敬称略）

埼玉県立小児医療センター 病院長

日本医学会／日本医学会連合・会長

社会福祉法人麦の子会 理事長

聖マリアンナ医科大学産婦人科学 教授

東京大学医学部附属病院小児・新生児集中治療部 教授

大阪医科薬科大学 名誉教授

明治学院大学 副学長・社会学部 教授

一般社団法人日本衛生検査所協会 理事・顧問

信州大学医学部保健学科看護学専攻 教授

全国手をつなぐ育成会連合会 副会長

公益社団法人日本医師会 常任理事

北九州市子ども家庭局子育て支援部子育て支援課母子保健係 係長

早稲田大学社会学総合学術院社会科学部 准教授

岡 明（委員長）

門脇 孝

北川 聡子

鈴木 直

高橋 尚人

玉井 浩

柘植 あづみ

堤 正好

中込 さと子

西 恵美

濱口 欣也

堀 優子

横野 恵

ワーキンググループ座長

施設認証 WG 座長

長崎大学生命医科学域医学系産科婦人科分野 教授

検査精度評価 WG 座長

浜松医科大学医学部 特命研究教授、名誉教授

三浦 清徳

前川 真人

こども家庭庁母子保健課

課長補佐

課長補佐

上出 泰山

小倉 慎司

日本医学会事務局

事務局：（株）MA コンベンションコンサルティング

堤 奈緒

平田 由紀子

欠席者（敬称略）

慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター 教授

昭和大学医学部産婦人科学講座 教授

小崎 健次郎

関沢 明彦

議事内容

1. 報告

（1）NIPT 等の出生前検査に関する専門委員会

母子保健課より、NIPT 等の出生前検査に関する専門委員会での取り纏め事項について報告があった。

（2）出生前検査認証制度等啓発事業

母子保健課より、ウェブコンテンツ作成、シンポジウムの開催等、当該事業の内容について報告があった。

2. 議題

（1）施設認証ワーキンググループ関連

1) NIPT 医療機関（基幹施設および連携施設）の認証審査について

新規で認証申請のあった医療機関（基幹施設：3 施設、連携施設：35 施設）および変更・辞退・停止等の申請 14 件について、ワーキンググループの審査結果を元に、認証の可否の判断を行った。基幹施設：3 施設、連携施設：35 施設が認証された。また変更・辞退・停止等の申請 14 件については、すべて承認された。

2) 暫定連携施設について

暫定連携施設については、指針に記載のとおり 2024 年 3 月 31 日までの時限的な措置であるが、日本産科婦人科遺伝診療学会の研修会および認定試験が 2024 年 1 月下旬に開催されたことに鑑み、その認定試験に合格した方が所属する暫定連携施設については、2024 年 9 月末まで暫定連携施設として認めることとなった。

（2）情報提供ワーキンググループ関連

1) 厚労科研白土班報告書 事例集「出生前検査に関する支援体制構築のための研究」から抽出した課題と好事例の、ウェブサイトへの掲載方法について

医療機関・検査分析機関用のページに、掲載を進めることとなった。

2) 専門委員会からの指摘事項：認証医療機関におけるウェブサイトによる情報提供について

医療機関への周知を進めることとなった。

(3) 検査精度評価ワーキンググループ関連

1) 検査分析機関の認証審査について

申請した5機関について、ワーキンググループの審査を元に認証の可否の判断を行ない、3機関が認証された。またこれまでと同様、3カ月後に実施状況報告を提出してもらうことになった。

2) 認証検査分析機関の3カ月後実施状況報告について

対象の3機関について、認証3カ月後実施状況報告を審査した結果を報告した。特に問題がなかったところは1機関、書類の修正・再提出を要するところが2機関あった。

(4) 今後の予定

今後の予定についての説明があった。

(5) その他

委員より実施状況報告の時期について質問があった。

初年度(2022年度)は3月末までの実施状況を、5月末締切としてデータを出してもらったが、令和5年度(2023年度)は、3月末までに遺伝カウンセリングを受けた症例について、その後のNIPTや確定検査等の結果までを報告してもらうため8月末締切となったことを説明し、運営委員会への報告は12月頃を予定している旨説明した。

以上